

# 全国税

発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

## 時短勧告見送りに抗議する



### 初任給中心に8年ぶり改定 悲惨！中高年・地域切りすて

人事院は8月8日、初任給を中心しながら俸給表改善では8年ぶりとなる一般職国家公務員の給与改定などに関する勧告ならびに報告を、国会と内閣に対して行いました。

国公労連・全国税は、層の俸給月額引上げ07年人勤にむけて賃金・一時金の改善、初任給の抜本改善、所定勤務時間の当面一日15分の短縮、非常勤職員の処遇改善を重点課題とし、追及を強めてきました。

人事院は、0・35%の官民較差にもとづき、初任給を中心とした若年層の改定(一部は07年4月に遡及)、一時金の0・05月改善、「専門スタッフ職俸給表」08年度新設等を勧告し、報告では人事評価制度の導入などに対する認識や勤務時間の見直し・超勤縮減対策などについて言及しています。

長年続いた賃金抑制・切り下げのもとで、俸給表の改善を勝ちとったことは運動の成果です。しかし、俸給表全体の改定に至らなかったことは比較対象企業規模を「100人以上」に回復しなかった不作為の結果であり一時金の増加分を勤勉手当に充て、較差の一部を地域手当に配分したことなどは容認できません。

所定勤務時間の短縮について、「来年の勧告を目的に、勤務時間を見直す」とし、改善を見送ったことは断じて認められず、直ちに条件整備を行い、速やかな時間短縮の実現を求めています。

また、非常勤職員の処遇について「民間の状況も見つつ、その位置付け等も含めて検討を行う必要がある」との指摘を初めて行いましたが、具体的な施策の打ち出しには至っていません。

## 1日15分、週1時間15分も長い勤務時間を放置

「時短は待たないであり、諸条件をクリアした上で15分短縮を勧告しない限り職場は収まらない」と、国公労連・全国税は繰り返し人事院を厳しく追及してきました。

人事院も「民間企業における平均所定内労働時間は、1日当たり7時間44分、1週間当たり38時間48分となっており、職員の勤務時間より1日当たり15分程度、1週間当たり1時間15分程度短くなっている」ことを明示してきました。

各府省当局も「所用の準備を行えば業務遂行に影響を与えることなく対応可能」としていました。

それにも関わらず、人事院は 交替制勤務の職場等における体制整備や既存の短時間勤務制度への波及の検討には、今しばらく要する 従って、早期に民間準拠を基本として勤務時間を見直すことが適当と考えるが、本年直ちに時短を勧告することが出来る状況には至っていないと判断した、と頑な姿勢に終始、不当にも時短勧告をサボタージュしました。

## 税 務 差 低下に歯止めがからず

ことし6月、全国税は「90年の10・7%をピークに年々低下し、05年には9・36%となっている」として水準差は低下し続けている。その拡大を図るため、特に、第一線の現場の中核となっている

人事院が「報告」で言及した 所定勤務時間の短縮にむけた環境整備や超勤縮減の具体的施策、非常勤職員の給与の検討、さらに 公務員の高年齢における雇用確保策 公務員賃金の確定、所定

などは、政府・使用者の責任で早急に対処すべき課題となっています。また住居手当見直し着手は今後重要課題となります。国公労連・全国税は、確立にむけて、秋季年末段階のとりくみを強化していきます。

上席・統括官の5・6級の水準差拡大を強く求めました。

対応した松尾参事官は、「税務水準差は対応号俸で差額を確保している」とし、中高年層の水準差拡大に極めて消極的な姿勢に終始、その結果は表の通りで、05年にくらべても(06年は給与改定見送り)、率で0・03%、金額で1500円低くなっています。

税務の職務に対する評価の象徴であり、職員にとって極めて大きな関心事である水準差 その拡大に背を向けた07年給与改定は到底受け入れられません。

## Zについては… 文句を言ってきたら

2007/7/23 14:41  
件名『職員団体への伝達』について  
各署 総務課長 宛  
いつもお世話になります。  
「育児のための…」の職員団体への伝達を予定していますので、事前に連絡します。  
……… 期 …………  
※ Zについては、挨拶等がなく組合員が不在の場合は、伝達不要です(文句を言ってきたら、「誰が組合員か分からなかったの、伝達できなかった」と言ってから伝達してください。)

左は、さる7月23日、名古屋局総務二係長が管内各署総務課長宛に送信しようとした『職員団体への伝達』について「Zについては、挨拶等がなく組合員が不在の場合は、伝達不要です(文句を言ってきたら、「誰が組合員か分からなかったの、伝達できなかった」と言ってから伝達してください。)」

のメールの一文です。これが、全署の職員を対象に誤送信されました。全国税は「Z(ゼット)」の隠語で言い表すほど怪しい団体であり、「文句を言う」「危険な団体と決めつけ」るなど全国税労働組合と組合員を嫌悪・敵視し、蔑視、誹謗中傷する

ものです。同時に、全国税に対する恐怖心を職場にあり、専制支配する当局の旧態依然の体質を露呈したものです。

酒席で酔っ払った先輩に「マルゼンは」と絡まれ、面罵された悔しさ、謝罪の言葉を何回繰り返されてもこの悔しさは消えません。

全国税の抗議に対し、対応した局総務課長は、

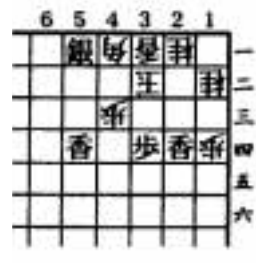
「不快な思いをさせたこととは申し訳ない」と謝罪していますが、「係長が起案して補佐、課長と決裁したものでなく、組織として出したメールではない」「異動と伝達時期がタイトであったが、署総務課長へ伝達のスケジュールを伝えたく送ったもの」との回答に終始しています。

## 敵視・蔑視のメール発覚

全国税東海地連は、緊急の局長交渉開催を求め、全国税労働組合と組合員への謝罪、全職員に今回の経過とあわせて明確に説明する、当該メール発信にかかわった総務課長、補佐、係長の処分・配置換え、あわせて局長の任命責任を明らかにする、全国税組合員に対するあらゆる差別の根絶を確約するよう追及しています。

級	在級人員 (人)	水準差	
		率 (%)	額 (円)
1	4,551	12.32	22,100
2	3,616	12.29	27,200
3	8,830	11.10	30,700
4	9,593	9.95	34,100
5	13,000	8.81	33,900
6	11,261	7.49	31,200
全体	50,851	9.33	31,200

不動産会社やゼネコンにとつてみれば垂涎の的の政府庁舎や公務員宿舎等の国有地 これらの切り売り推進するのが「国家公務員宿舎の移転・跡地利用に関する有識者会議」で、森ビル事業に深く関与している人物を座長に、利害関係者と思われる面々を連ねる 東京国税局や地方財務局・建設局があった大手町跡地を「国際ビジネス拠点」にするというのが開発構想の宣伝文句 この跡地は平方メートルあたり970万円(公示地価の半分程度)の超安値で売却され、しかも倍近い容積率で経団連会館や日経ビル、JABビル等が建設される 国民の貴重な財産である国有地をターゲットに、特定の企業に巨利をもたらす「国有地の売却」はマッタだ。



詰将棋  
出題 九段 西村一義  
中級クラス  
ヒント  
桂が主役の攻めとなる。(10分/二段)  
持駒 角桂





46年の伝統を持つ「全国税山のつどい」。今年は8月4日から6日にかけて、南アルプス南部の荒川岳、赤石岳(いずれも3千メートル峰)に挑み、山上の自然を満喫しました。(写真は、赤石岳山頂)

# 「一元化」試行は事務官の意見です

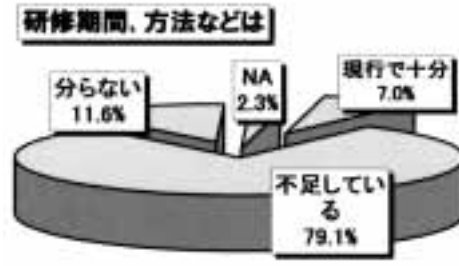
3

## 「研修期間、方法について」の設問に

「現状で十分」と答えた人の意見 (なし)

「不足している」と答えた人の意見

局の短時間の研修を除けば、ほとんどが「現場研修」。間違っただけで覚えるとそのままで、身につかない。月1回は必要。事務内容を確定した上で、従事する人

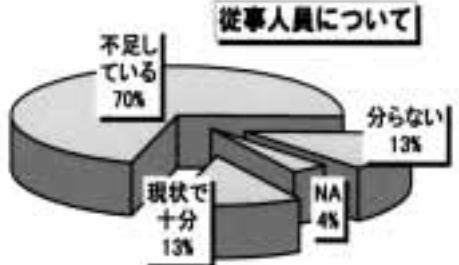


い、月々の部門研修にも出られない。特に、資産税の研修が多いので、資産税の研修をしてほしい。研修は多いにこしたことはないが、研修時間が取れないというのも事実である(5時以後に行うしかないのかな)。一元化の事務は各事務系の事務手続きを理解しな

## こうした声聞いていますか

長官・局長「聞く耳持たぬ」では失敗繰返します

申告処理Gの下請けに窓口Gが従事。源泉・資料は落ち着いて引継ぎができず、担当者が変更できない。報告事務も同様。特定の職員の負担が大きい。今の人員が全てもやる気のある人であればOKかも。確申を一元化でやるのは不可能。まず何を求めるかとい



「不足している」と答えた人の意見

申告処理Gの下請けに窓口Gが従事。源泉・資料は落ち着いて引継ぎができず、担当者が変更できない。報告事務も同様。特定の職員の負担が大きい。今の人員が全てもやる気のある人であればOKかも。確申を一元化でやるのは不可能。まず何を求めるかとい

実用的なハウ・ツーこそ必要と思われる。研修や意見交換で不都合点をまとめる。軌道に乗ればよいのかもしれない。業務に即した研修をもっと行ってほしい。また経験を通じて学ぶことが多いため、余裕を持った人員配置としてほしい。本年は異動後の一日程度だけであり、無かったに等しい。日々の仕事を指導・指示する対応ができていない。研修方法にはなじまないが

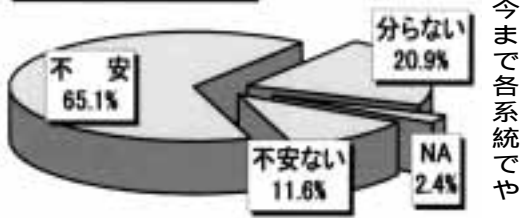
研修はできないと思う。局での研修が全くなかった。かなり不足している。うわべ、形式的に行っても無駄。一つの系統を何年も従事するしか身につかない。相談の回答に自信が持てない

研修するとなっても、窓口に出るとの理由で全員参加は難しい。他系統の改正税法研修を受講しても基本が分かっていないので理解しにくい。各時期に応じた研修を行ってほしい。研修に関しては、「ほぼ問題です」。

皆無」といっていいほど不足している。職員はもとより「対納税者」を本気で考えるべき! 「分らない」と答えた人の意見

研修を充実させても、最後は個人の資質の問題です。

## 今後の処遇について



「今後の処遇に不安がありますか」の設問に不安はないと答えた人の意見

今まで各系統でやってきた仕事をそのまま一元化事務でやるにあたって何か変わるのか分らない

不安であると答えた人の意見

一元化に統合された後、自分の居場所が残るか不安。給与も「女性だから」と差をつけられるような気がする。上司が仕事を知らない。徴収部として一元化運営をやっているのか?!

一元化担当に入ったために転課交流はできないのでは、事務屋をどう評価するの? 給与が行政職にかわるとい噂がある。ますます軽くみられそう。調査以外は税務職員ではないという希望していないので一元化担当で生きていくしか道がない。一元化の仕事は外回りの仕事に比べれば結果が表に現れにくく、評価も低くなりそう。処遇にも影響してくる

と思う。直属の統括官は遙か彼方の席にあり、口をきく時はカウンセリグ、対処できない苦情、休暇申請時位のもの。日々の仕事の決裁も直属統括官はノータッチである。高い評価を得たい気持ちはないが、普段の仕事振りも分らず正当な評価できないと思う。財務省設置法、税理士法、訓令など変更点の見当も次号に匿名意見、アウトソーシング、健康について寄せられた職場の意見を掲載し、4回に渡ることのシリーズを終了します。



## 機関紙の力

【北海道地連】8月2日付機関紙『全国税北海道』のコラムは、「一元化部門では毎朝8時半からの打ち合わせが行われ、準備時間の「形骸化が危惧されています」と指摘。これを受けて一元化部門では、統括から「8時半から9時の打ち合わせ禁止」の連絡。職場からは「機関紙の力」との声が全国税に届きました。

【近畿・南大阪支部】某局の総(二)係長、7月25日の「育児のため」が文句を言って...

【6月11日 犬山市】昨年に続いて参加。去年は名古屋役所、岩倉市役所でしたが今年には岐阜への引継ぎ。参加者4名でカンパ隊もやり疲れた。参加者が多く、今の世情を反映しています。

【6月30日 柏原・大阪入りの出発式】今年には多数の国税・税関・厚生の方々と交流あり。7月7日、兵庫に引



国民平和行進に参加した兵庫支部の仲間たち

き継ぐまで頑張ります。

【7月5日 守口コー】統括官、明日休んでどこへと訊かれる。平和行進へ約16kmと言った暑いのに何で? 「平和を守ると言っても、私には歩くことしかできませんから」と答える。

【7月15日 相生市役所】赤穂市役所】昨年に続き全国税の旗のトリを受け持つ。兵庫最大最大の難所、高取峠を越える時は汗でビツシヨリ。最後に一言、戦争への道は許さないゾー!

## 詰将棋

【解説】

▲4二銀成○同五▲5  
 一角○3二玉▲3三歩  
 成○同桂▲4二角成○  
 同玉▲3四桂○3二玉  
 ▲2二香成まで11手詰

【解説】

初手▲2三銀は○2二玉で届きません。▲4二銀成から▲5一角として▲3三歩成で○同桂と取らせて▲4二角成が決め手。▲3四桂でビツタリ。

お詫びと訂正

前号および1855号の詰将棋出題に間違いがありました。お詫びを申し上げ前号出題を再掲すると共に、1855号の持駒を「飛銀」に訂正させていただきます。